

テーマ名：未利用木質系資源の粒子化による新規建材の開発・販売
 ～独自の技術により風倒木・竹など九州の林業の課題解決を図る～

事業計画の概要：
 本事業は、木材等を粒子化し、粒子を大きさによって仕分けする装置を開発し、その粒子を接着成形剤と混合し成形する技術開発によって、従来の木質素材では提供されていない多様なデザインと機能を持つ、「木質系新規建材製品」（面塗材・コルクタイプの木質ブロック等）の製造と販売事業化を特徴とする。
 また、本事業は、風倒木や間伐材など、建築材として直接利用することの困難な、地域の森林資源の有効利用という課題にも対応できる市場性のある製品であるとともに、焼却無害、産業廃棄物を減らす環境配慮型のリデュース商品として、様々な形で市場に提供することを可能にする。
 山林管理、製材、建材加工製造の各企業、団体と大学及び地方公設研究機関という産学官が連携することで、地域の未利用木質系資源の活用を促進し、地域活性化に資する新たな産業システムの構築を目指す。

コア企業：㈱トライ・ウッド（大分県日田市：その他の林業）
連携企業等： ㈱紅屋（大分県日田市）、日田木材（協）（大分県日田市）
 （協）日田家具工業会（大分県日田市）、九州大学（福岡県福岡市）、
 日田市森林組合（大分県日田市）、
 大分県産業科学技術センター日田産業工芸試験所（大分県日田市）

